



発行所

公益社団法人 全国珠算教育連盟
道央支部

〒064-0802

札幌市中央区南 2 条西 25 丁目 2-19

TEL 011-644-1635

FAX 011-676-8668

syuzan04@rondo.ocn.ne.jp

http://web-g.jp/douou88/

発行者：支 部 長 下 佐 和 史

編集者：広報部長 中村 晴 兆

第42回 北海道珠算選手権大会

令和2年1月12日(日)実施

久保 新選手令和最初の北海道一に見事輝く!!

令和2年1月12日(日)札幌市(ホテルライフオー・札幌)に於いて第42回北海道珠算選手権大会が北海道6支部より高校生以上31名,中学生55名,小学生以下93名,合計179名の選手参加を得て開催されました。

今大会の北海道珠算選手権者として久保新選手(道央)が2年連続輝きました。小学生珠算選手権者には,永嶋睦選手(オホーツク)が輝きました。

種目別競技読上暗算選手権者は,(5桁~16桁,10口,加減算,40.87秒)久保新選手が5連覇。読上算選手権者(7桁~16桁,10口,加減算,26.80秒)

で若松彩選手が初優勝,フラッシュ暗算選手権者(3桁,10口,1.68秒)で浅野貴広選手が5連覇を達成しました。

各部門の優勝者の詳細は次の通りです。



第 42 回 北海道珠算選手権大会 優 勝 者

総合 競技	北海道珠算選手権者	久保新	北海商科大学	1,990 点
		2年連続 2回目		
	小学生珠算選手権者	永嶋睦	北見市立中央小学校	1,990 点
		初優勝		
	高校生以上の部優勝者	久保新	北海商科大学	1,990 点
		2年連続 2回目		
	中学生の部優勝者	山田稔揮	札幌市立日章中学校	1,940 点
		初優勝		

読 上 暗 算 競 技	北 海 道 選 手 権 者	久 保 新	北海商科大学	5-16桁10口 40.87秒
		5年連続 5回目		
	高校生以上の部優勝者	久 保 新	北海商科大学	
		4年連続 4回目		
	中 学 生 の 部 優 勝 者	逢 坂 美 佑	室蘭市立翔陽中学校	
		2年連続 2回目		
	小学生以下の部優勝者	井 伊 俊 介	江別市立大麻小学校	
		2年ぶり 2回目		

読 上 算 競 技	北 海 道 選 手 権 者	若 松 彩	札幌そろばんファクトリー	7-16桁10口 26.80秒
		初優勝		
	高校生以上の部優勝者	若 松 彩	札幌そろばんファクトリー	
		初優勝		
	中 学 生 の 部 優 勝 者	畠 山 珠 貴	小樽市立北陵中学校	
		初優勝		
	小学生以下の部優勝者	井 伊 俊 介	江別市立大麻小学校	
		初優勝		

フ ラ ッ シ ュ 暗 算 競 技	北 海 道 選 手 権 者	浅 野 貴 広	日高信用金庫	3桁10口 1.68秒
		5年連続 5回目		
	高校生以上の部優勝者	浅 野 貴 広	日高信用金庫	
		5年連続 5回目		
	中 学 生 の 部 優 勝 者	逢 坂 美 佑	室蘭市立翔陽中学校	
		初優勝		
	小学生以下の部優勝者	永 嶋 睦	北見市立中央小学校	
		2年連続 2回目		

令和2年度成績（道央支部関係分）

個人総合競技

高校生以上の部

優勝	久 保 新	北海商科大学
2位	中 村 卓 磨	(株)ジョイフルエーカー
3位	若 松 尚 弘	札幌そろばんファクトリー
4位	浅 野 貴 広	日高信用金庫
4位	計 良 彩 水	札幌東高等学校
4位	酒 井 聡 史	北海道大学
7位	若 松 彩	札幌そろばんファクトリー
8位	眞 田 美 歩	北海道警察
11位	河 野 太 風	札幌第一高等学校
12位	高 橋 百年美	札幌大学職員
14位	関 口 佑 介	共和企興(株)
17位	森 下 琳 加	北海道大学
18位	櫻 井 優 希	加藤珠算塾

中学生の部

優勝	山 田 稔 揮	札幌市立日章中学校
3位	兼 松 優 衣	北海道教育大学附属札幌中学校
6位	田 中 歩 斗	札幌市立手稲東中学校
7位	阿 部 笑 子	札幌市立手稲東中学校
11位	久 末 琴 音	札幌市立西陵中学校
13位	畠 山 珠 貴	小樽市立北陵中学校
16位	氷 室 孟 起	札幌市立清田中学校
18位	齋 藤 公 陽	北嶺中学校
19位	加 藤 風 花	札幌市立八条中学校



小学生以下の部

2位	井 伊 俊 介	江別市立大麻小学校
3位	永 井 悠 聖	札幌市立東園小学校
4位	新 倉 咲 音	札幌市立福移小学校
4位	細 川 結 愛	札幌市立西園小学校
6位	奈 良 優 杜	札幌市立緑丘小学校
9位	友 兼 慧	札幌市立手稲山小学校
10位	渋谷 萌 乃	札幌市立東園小学校
11位	東海林 佑 哉	札幌市立栄南小学校
12位	山 本 果 凛	札幌市立幌西小学校
13位	山 田 洸 揮	札幌市立東札幌小学校
14位	新 倉 舞 音	札幌市立福移小学校
15位	大 塚 千 秋	札幌市立中の島小学校
16位	山 下 愛 加	札幌市立新陵東小学校
20位	久保田 留 惟	北海道教育大学附属札幌小学校
21位	濱 崎 尚 人	札幌市立発寒西小学校
28位	羽 田 美 優	札幌市立手稲中央小学校
29位	岡 村 和 奏	札幌市立和光小学校

読上暗算競技

高校生以上の部

順位	選 手 名	所 属
優勝	久 保 新	北海商科大学
2位	浅 野 貴 広	日高信用金庫
4位	中 村 卓 磨	(株)ジョイフルエーケー
5位	計 良 彩 水	札幌東高等学校
6位	若 松 尚 弘	札幌そろばんファクトリー
10位	酒 井 聡 史	北海道大学
10位	眞 田 美 歩	北海道警察
10位	高 橋 百年美	札幌大学職員
10位	櫻 井 優 希	加藤珠算塾

中 学 生 の 部

順位	選 手 名	所 属
2位	兼 松 優 衣	北海道教育大学附属札幌中学校
4位	山 田 稔 揮	札幌市立日章中学校
4位	加 藤 風 花	札幌市立八条中学校
9位	笹 森 海 都	北海道教育大学附属札幌中学校
9位	齋 藤 公 陽	北嶺中学校



小学生以下の部

順位	選 手 名	所 属
優勝	井 伊 俊 介	江別市立大麻小学校
2位	奈 良 優 杜	札幌市立緑丘小学校
3位	永 井 悠 聖	札幌市立東園小学校
5位	新 倉 咲 音	札幌市立福移小学校
5位	山 田 洸 揮	札幌市立東札幌小学校
9位	友 兼 慧	札幌市立手稲山小学校
10位	渋谷 萌 乃	札幌市立東園小学校
10位	久保田 留 惟	北海道教育大学附属札幌小学校
10位	大 塚 千 秋	札幌市立中の島小学校
10位	羽 田 美 優	札幌市立手稲中央小学校
18位	細 川 結 愛	札幌市立西園小学校
18位	東海林 佑 哉	札幌市立栄南小学校

読上算競技

高校生以上の部

順位	選 手 名	所 属
優勝	若 松 彩	札幌そろばんファクトリー
2位	眞 田 美 歩	北海道警察
3位	浅 野 貴 広	日高信用金庫
3位	計 良 彩 水	札幌東高等学校
7位	高 橋 百年美	札幌大学職員
8位	酒 井 聡 史	北海道大学

中 学 生 の 部

順位	選 手 名	所 属
優勝	昌 山 珠 貴	小樽市立北陵中学校
2位	田 中 歩 斗	札幌市立手稲東中学校
2位	兼 松 優 衣	北海道教育大学附属札幌中学校
7位	山 田 稔 揮	札幌市立日章中学校
7位	竹 内 優 騎	札幌市立東月寒中学校



小学生以下の部

順位	選 手 名	所 属
優勝	井 伊 俊 介	江別市立大麻小学校
2位	新 倉 咲 音	札幌市立福移小学校
2位	永 井 悠 聖	札幌市立東園小学校
2位	細 川 結 愛	札幌市立西園小学校
2位	山 田 洸 揮	札幌市立東札幌小学校
2位	奈 良 優 杜	札幌市立緑丘小学校
2位	友 兼 慧	札幌市立手稲山小学校
11位	久保田 留 惟	北海道教育大学附属札幌小学校
13位	山 本 果 凛	札幌市立幌西小学校
13位	大 塚 千 秋	札幌市立中の島小学校
13位	岡 村 和 奏	札幌市立和光小学校
20位	渋谷 萌 乃	札幌市立東園小学校

フラッシュ暗算競技

高校生以上の部

順位	選 手 名	所 属
優勝	浅 野 貴 広	日高信用金庫
2位	若 松 尚 弘	札幌そろばんファクトリー
2位	眞 田 美 歩	北海道警察
5位	久 保 新	北海商科大学
5位	計 良 彩 水	札幌東高等学校
5位	中 村 卓 磨	(株)ジョイフルエーケー
5位	若 松 彩	札幌そろばんファクトリー

中 学 生 の 部

順位	選 手 名	所 属
3位	山 田 稔 揮	札幌市立日章中学校
3位	田 中 歩 斗	札幌市立手稲東中学校
6位	兼 松 優 衣	北海道教育大学附属札幌中学校
7位	阿 部 笑 子	札幌市立手稲東中学校
7位	氷 室 孟 起	札幌市立清田中学校



小学生以下の部

順位	選 手 名	所 属
2位	井 伊 俊 介	江別市立大麻小学校
2位	新 倉 咲 音	札幌市立福移小学校
4位	細 川 結 愛	札幌市立西園小学校
4位	山 田 洸 揮	札幌市立東札幌小学校
8位	渋谷 萌 乃	札幌市立東園小学校
11位	永 井 悠 聖	札幌市立東園小学校
11位	奈 良 優 杜	札幌市立緑丘小学校
11位	久保田 留 惟	北海道教育大学附属札幌小学校
11位	山 本 果 凛	札幌市立幌西小学校
16位	東海林 佑 哉	札幌市立栄南小学校
16位	友 兼 慧	札幌市立手稲山小学校
16位	山 下 愛 加	札幌市立新陵東小学校
16位	高 田 萌 花	札幌市立前田北小学校

北海道珠算選手権レポート

① 優勝の感想 ②大会に参加する意義 ③優勝できた勝因 ④上達方法 ⑤ そろばんを習っている皆さんへ一言

個人総合競技北海道選手権者

読上暗算競技北海道選手権者

久保 新 選手



①	個人総合競技・読上暗算競技,どちらも今もっている力を本番で出し切ることができ,それが結果に繋がったのでとても嬉しかったです。
②	競技大会に参加すると検定試験だけでは得られない力が必ずつくので積極的に大会に参加する事をおすすめします。
③	結果を意識しすぎず,全力を出し切ることと考えて競技できたのが良かったかなと思います。
④	常に向上心を持って,練習を続けることが大切だと思います。
⑤	珠算はとても良い習い事だと思うので,ぜひ長く続けて欲しいです。

読上算競技北海道選手権者

若松 彩 選手



①	今回このような大きな大会で優勝できたことをとても嬉しく思います。 私にとっては初のビッグタイトルでした。3人の子育ても日々ある中で,練習できる時間は限られていますが,このようなタイトル獲得は大変励みになります。 我が子にも「お母さんやったよ～！」と自慢しました(笑)
②	私にとっては大会があるおかげで,練習せざるを得ない状況に自分の身を投じることができており,また大会に向けての練習を重ねることで,こんな歳(今年で32になります)でも微々たる成長につながっていると実感しています。身近な目標がなければなかなか練習に強制力を持たせられなかったり,モチベーションも上がらなかったりしますので,大会の存在は本当にありがたいです。改めて,大会運営の方々にも感謝申し上げます。
③	「絶対優勝するぞ！」なんていう気迫めいたものは正直あまりなく,いい意味で無欲であり,力まずに競技に臨めたこと,また,1口をとにかく丁寧に置いていくということを心がけていました。「1口1口を落ち着いて入れる。10回(15回)積み重ねればそれが答え」という伊藤由夏選手(広島県・読上算の名手)の恩師の言葉があります。競技中ふと思い出し,その言葉を何度も脳内再生しました。 競技中はもちろん緊張もありましたが,同年代で普段から交流のある眞田選手との一騎討ちの時間が何よりとても楽しかったです。心から競技を楽しめたことも勝因としてあったのかもしれない。
④	上述しましたように,大会に積極的に参加し,その大会に向けてがんばることが一番の上達法だと思います。読上算の上達に限って言うと,自分も生徒に対して日頃は読み手の立場でもあるのですが,問題を高速で読むというこ

	とが自然と置き手として聞き取るための訓練にもなっていたのかな、なんて思います。読ませてくれる生徒にも感謝ですね。
⑤	そろばんは練習すればするほど上手になり、さらに点数という形で上達具合や達成度が目に見えるので非常にわかりやすいですね。だからこそやりがいもあり、自分の能力の限界に日々挑戦していくことは本当に楽しいです。 また、計算ができて便利…なんていう日常生活に足るレベルをはるかに超える、そろばんの競技の世界は大人になるにつれてますます面白く、味わい深いものになっていきます。緊張感にどう打ち克つか、計算方法の工夫や改善、暗算力の強化、読みやすい数字をいかにして速く書くか、本番への仕上げ方・心構えなど、珠算歴26年の私でも、考えられる今後の課題がまだまだたくさんあるのです。 小学生で辞める、1級をとったらもういいや、なんて言わず、ぜひ中学生や高校生になっても、とにかく少しでも長く続けていただき、この競技の世界やそろばんの真の面白さをもっともっと堪能してほしいなと思います。 レベルは様々ですが、少しでも上を目指し、皆さん一緒にがんばりましょう！

フラッシュ暗算競技北海道選手権者

浅野 貴広 選手



①	正直、ホッとしています。今シーズンは、例年と比べると調子の悪い日が多く、1.8秒すら計算できない日々が続きました。ですが、なんとか本番は調子を立て直し、力を発揮することができたので、今回でまた1つ自分に自信がつかしました。
②	結果が良くても悪くても、またそれを糧にして次の目標ができること。
③	最後まで諦めなかったこと。
④	自分の計算できる限界のタイムの問題を短時間で練習してやる。 全くついていけないタイムの問題ばかりをやり続けると、計算できない事に脳が慣れてしまうので、注意が必要です。
⑤	そろばんの良さが分かるのは、十段を取ってからだと思います。そろばんは面白くないと感じている人が大多数な気がしていますが、根気強く長く続けてみてください。きっと、自分にとってプラスになることをたくさん発見できるはずです。

珠算教育士 (6名)

- ・中村卓磨先生 札幌地区
- ・若松尚弘先生 札幌地区
- ・佐々木美香先生 札幌地区
- ・久保田智彦先生 札幌地区
- ・門脇義勝先生 岩見沢地区
- ・奈良智洋先生 美唄地区

珠算教育段位 (2名)

- ・今容子 十段 札幌地区
- ・中村晴兆 十段 札幌地区



●おくやみ

全珠連岩見沢地区 大久康夫先生

平成元年11月17日に逝去されました。享年79歳

大久先生は、岩見沢地区創設(昭和42年7月岩見沢地区誕生)に尽力され、その後地区長となり、月形・当別・岩見沢にてそろばん塾を開設され、駒澤大学付属岩見沢高等学校教諭・月形刑務所講師を経てきました。地区創設以降、岩見沢地区に偉大な功績を残されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

本部理事就任挨拶

本部理事 齊藤 徹

昨年9月令和元年度本部理事改選にあたり、道央支部並びに北海道ブロックの推薦をいただき地方区理事として立候補し選任されました。

平成10年より支部検定部長として3期7年、平成17年より副支部長・総務部長4期8年、平成25年より支部長3期6年の経験を活かし微力ながら本部、支部間の橋渡しが出来ればと思っています。

現在、検定競技委員会に配属され検定問題の校正、全日本珠算選手権大会の運営準備に追われています。支部長在任時の平成29年12月より本部総務委員会委員として1期2年担当し1つの委員会にも複雑多岐にわたり様々な仕事があることを実感しました。理事としては半人前どころか1/3人前くらいかもしれません。昨年12月の理事会では相当量的意思決定に関わりましたが議案の数に圧倒され、試行錯誤どころか日頃の不勉強を取じ日々勉強の毎日です。

私はそろばんの持っている存在的な“ポテンシャル”はとても高いものがあると確信しています。AI(人工知能)という言葉が様々なところで見聞きするようになりました。時代の流れや“物”の変遷が以前にも増して速く感じますが不易流行(不変的な本質を持ちながら新たな変化を取り入れること)の言葉通り【そろばん】は不変です。全国組織だから出来る施策があり、また個々においては会員が積極的に様々な情報を発信していく必要があるのではないかと思います。最後になりましたが会員皆様のますますのご健勝を祈念し、今まで以上に皆様のご支援ご協力をお願い申し上げ理事就任の挨拶といたします。



第7回 人材育成講習会を受講して

札幌地区 湯谷 美由紀

雪がちらつく札幌から、千歳空港へ着き一緒に参加する道央支部の先生と待ち合わせ、少し旅行気分で京都へ。2泊3日の人材育成講習会を受講させていただきました。

このお話をいただいた時、私などが参加していいものか悩みましたが、今では、本当に参加させていただいて良かったです。こんな未熟ものの私にこのような機会を与えて下さいました本部役員・研修学教委員・講師・事務局の皆様、そして私を快く送り出して下さいました道央支部の皆様、心から感謝を申し上げます。

私にとって本当に貴重な体験をさせていただきました。それでは、各講座について、述べたいと思います。



第1講座 全珠連史・組織の現状と運営・展望

現在の珠算界の厳しい現状を再認識し、今後、人口減少や、AIに対抗していく為にどうしなければならないか、歴史を踏まえてより考えていく講義でした。まず、全珠連誕生の経緯についてです。昭和28年3月21日に荒木 勲先生から、自主独立の精神のもと、全国珠算団体の設立のお手紙をお書きになり昭和28年9月に創立総会を開催し全国珠算教育連盟は誕生しました。組織として確立していく中、平成13年7月現在の検定制度に改正(教育珠算をアピール)事業としては、昭和39年新京都事務局竣工、昭和41年東京事務局設置、昭和43年そろばんの日を8月8日に制定した等を学びま

した。なんといっても、平成 25 年 7 月 1 日公益社団法人全国珠算教育連盟に認可されたことは、想像しがたい大変なご苦労だった事も知りました。そして、公益社団法人と一般社団法人の違い、全珠連が目指す珠算教室として、珠算教育者の資質の向上なくしてそろばんの発展はないこと等を学びました。珠算教育士や珠算教育段位の取得の推進、生徒安全会での安心安全等、私も全珠連の基本姿勢を頭に叩き込みながら、襟を正して向き合っていこうと強く感じました。

第 2 講座 検定運営

検定事業とは、全珠連の公益目的事業の一つであり収入の 80% が検定受験料から成り立っています。連盟を運営して行く上で、最も重要視しなければならない事業でもあります。しかし、深刻な少子化、実務珠算から教育珠算への転換、消費税率の増税など厳しい現状でもあることも知りました。昭和 54 年をピークに右肩下がり、今では 40 万受験者数を切っている状態です。解決策としては、このような現状であることを各支部においても周知して頂き、下級検定を活用し、算数チャレンジ検定試験、フラッシュ暗算検定試験の活用など、自分の塾でも学習者の低年齢化に伴って考えていこうと思いました。また、検定試験委員委託制度で信頼を得て、珠算教育士免許取得で社会的評価と資質向上をはかり、正会員指導教場で珠算学習者に安心を提供する事というのも今迄、漠然としていた事がつながり理解することができました。一人でも多く検定事業につなげていくことが大事だと思いました。

第 3 講座 学校における特別支援教育の実践

小学校校長のお立場から、生徒の視点に立った現場作りに取り組んでいらっしゃる楽しく分かり易い講座でした。特別支援教育に大切なキーワードとして見える化・ユニバーサルデザイン・構造化(パターン化)が大切と知りました。指導の心得として ①言葉がけは短い言葉で ②視覚的に働き ③曖昧な言いまわしはさける ④正面から話す ⑤座りましょう ⑥声量を抑える ⑦穏やかな態度 ⑧見通しを伝える ⑨上手に褒める ⑩刺激を減らす これらは、大変参考になると感じました。他の子にとっても分かり易いと思い塾でも、自分の引き出しを増やしていきたいと思いました。

また、1 年生において、5 が特異数になっており、指が 5 本あるという外的な構造が、内的な表象構造になったという研究がされていることも驚きでした。幼児や一年生には、後に出てくる裏ワザでの意見にも通じるものがあり、指導方法も柔軟にしていく必要があると感じました。

第 4 講座 珠算史 古そろばんで辿る珠算の歴史・算法(かけ算とわり算の歴史)

そろばんの伝来は、16 世紀末で、久野四兵衛重勝が秀吉より拝領されたそろばんが一番古いものであるそうです。そろばんの生産地は、大津追分の片岡庄兵衛が中国人より参考にして製造・販売することにより大津・長崎・堺に広めたとのことでした。また、江戸時代の平和さにより、商人達により経済・教育の発展につながりました。明治の珠算教育は、政府により採用され「共興学舎」により普及しました。昭和の四つ玉へ移行は、塩野直道の尽力により実現し、戦後の復興と電卓計算機の普及にも関わらずそろばんは生き残りました。

今回、改めて珠算の歴史を詳しく知ることができ良かったと思いました。また、算法では、尾乘法、頭乘法、省一乘法、帰除法、商除法など実際にそろばんを用いながら教えて頂きました。とても難しい部分もありましたが、機会を見て、子供達にも伝えてみたいと思いました。

第 5 講座 算数科 「筆算」

入塾される子の保護者は、学校の成績向上を狙っている場合が多く、計算の分野が向上される事を期待し結果がでると親も安心します。信頼の構築が一番必要な事と学びました。

実際に筆算による計算を確認しながら、講義が進み、視点を変えて子どもへの珠算指導を見直す事ができ良かったです。また、数字と形を結びつけるのは、子供にとって難しいことが分かり、アレイ図を利用することで分かり易くなると知りました。そして、アメリカの計算方法を知ることによって、日本での珠算へ利便性を分らせることができると感じました。インドの昔のかけ算計算は、とてもユニークで面白く機会があれば、子供達に教えてあげたいと思いました。日本の計算力は、一つの武器になるとおっしゃった先生の言葉に、力をいただきました。

第6講座 PC活用法

世の中は、「超スマート社会」へ向かっています。それを支える技術の一つに IOT があります。IOT とは、色々なものがインターネットに接続されることです。(スマホ、タブレット、デジカメ等)モノとモノが連動しお互いが自主的に制御・活動する時代において、仕事は徐々にモノにとって代わられます。AI(人工知能)が人間の代わりになるとその社会では、プログラミング教育が重要になります。最初に映像を見ながら、近い将来こんな環境になるのかなとすぐそこまで来ている技術をひしひしと感じました。PC 操作にそれほど詳しくない為今日学べる事は、覚えて帰りたい気持ちでいました。そして、Excel 操作の実践をやりました。Function キーや関数に関して丁寧に話しながらの実践でした。最後に、これからの社会はますます生徒とのコミュニケーション・人間力をもって指導する事が大切だという事でした。本当に心に刻みながら実践したいと思いました。

第7講座 自らの資質向上を目指して

資質向上にあたって4つの「じんざい」について人罪、人在、人材、人財があり仕事ができ、人間的にも優れていて代わりがきかない人財になりたいと思いました。また、仕事は、知識や技術でするものではなく、人間性が大切とおっしゃったのが心に響きました。

また、3つの約束として、挨拶、掃除、素直などをあげられ、心を開いて、上から目線ではなく謙虚に人の話を聴く事の大切さを学びました。また、魔法の言葉、ありがとう、感謝します、叶う、褒めるなど、普段なにげなく使っている言葉が、実は、とても大切に心地良さを感じると改めてきれいな言葉を生徒にかけていきたいと思いました。また、教師とは、「盆栽」。「松(待つ)菊(聞く)」とおっしゃったのも、印象的でした。今出来ることを、一つずつ実現していこうと勇気を頂きました。

第8講座 生徒指導におけるコミュニケーション力

良好なコミュニケーションは、信頼関係形成の基本で、生徒の精神面にも良い影響を与え、技術と内面が伴って、初めて良好なコミュニケーションとなる事を学びました。技術的要因では、①一般的なコミュニケーションスキル、姿勢、視線、表情、口調、言葉、間などがあります。これは、塾においても、一般人に接する時にも気を付けていきたい事だと思いました。いくら子供でも、人格を否定するような事は、言うてはいけなとおっしゃった先生の言葉に納得です。②傾聴(相手の話を一生懸命、心を込めて聴く)③共感(相手の感情に寄り添い感じとり伝える)内面的要因では、同じ言動を見ても人により認知スタイルが違うこと。性格が影響を及ぼすこと。自分を分析しどのような癖があるか、理解する必要があることを知りました。そこで、交流分析として、実際に TEG エゴグラムを体験しました。私は、CP(批判的な親)とNP(養育的な親)とA(大人)が高く、AC(順応した子ども)が低い結果となりました。これを踏まえて、私ってこうだと客観的に見ることもでき楽しかったし、この結果を、人とのコミュニケーションに生かしていこうと思いました

各班発表 「THE うら技」

私達6班は、10の補数から指導する仲間のグループでした。10の利点を話し合い休みという休みは全部費やし、2日目の朝食もグループ皆でそろって食べました。話し合ううちに、5の補数の利点にも気が付き結局どちらから始めてもいいのでは、という結論になりました。ただ、真剣に、各班の発表をきくうちに、どの先生のお話すばらしくもっと勉強しなければと思いました。また、時代の変化に伴い、指導もより良いものに变化させていくことも大切だと感じました。

おわりに、事務局から資料が送られてきて、宿題、支部自慢のメールを送るところから始まり、どんな事になるのだろうと不安でいっぱい臨んだ講習会。各支部の代表のような人々が、珠算という一つの目標を持って、熱く語り合い協力し合って過ごした2泊3日でした。いつもなら、夜の仕事は眠くなりがちですが、緊張と興奮から目が冴えながら書いたレポートです。ライン交換をして、6班のグループラインを作り励まし合いました。

今回得た、知識と仲間は、私にとって何事にも代えられない貴重な財産だと思います。このような機会を機に少し、前向きに頑張っていきたいと思います。重ね重ね、講習会に関わるすべての皆様に感謝するとともに、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。また、今後とも宜しくお願い致します。

9

行 事 予 定

令和 2 年 (2020 年)

- 4 月 19 日 (日) 第 396 回全珠連珠算検定試験 (各地区) 3/22 から変更
- 6 月 21 日 (日) 第 397 回全珠連珠算検定試験 (各地区) 5/24 から変更
道央支部珠算指導者講習会 (ちえりあ) 3/1 から変更 中止
- 7 月 5 日 (日) 第 55 回道央珠算選手権大会 (千歳市) 中止
- 7 月 12 日 (日) 第 5 回執行部長会 (珠算会館)
第 6 回常任委員・地区長会 (珠算会館)
- 7 月 26 日 (日) 第 398 回全珠連珠算検定試験 (各地区) 7/19 から変更
- 8 月 8 日 (日) そろばんの日 令和 2 年度全日本珠算選手権大会 (京都市) 中止
- 8 月 23 日 (日) 第 7 回常任委員・地区長会 (ホテルライフオーポート札幌)
令和 2 年度全珠連道央支部定時総会・道央珠算教育振興会定時総会 (ホテルライフオーポート札幌)
- 8 月 30 日 (日) 新入会員講習 (珠算会館)
- 9 月 6 日 (日) 全珠連本部定時社員総会 (京都市)
- 9 月 24 日 (木) 全珠連創立記念日
- 9 月 27 日 (日) 第 399 回全珠連珠算検定試験 (各地区)
- 10 月 18 日 (日) 令和 2 年度全日本通信珠算競技大会・第 43 回北海道珠算選手権大会予選 (各地区)
- 10 月 31 日 (土) 第 112 回全珠連北海道地方連合会会議 (ホテルライフオーポート札幌)
- 11 月 1 日 (日) 令和 2 年度北海道 6 支部合同珠算指導者講習会 (ホテルライフオーポート札幌)
- 11 月 8 日 (日) 第 6 回執行部長会 (珠算会館)
第 8 回常任委員・地区長会 (珠算会館)
- 11 月 29 日 (日) 第 400 回全珠連珠算検定試験 (各地区)
- 12 月 25 日 (金) ~ 27 日 (日) 人材育成講習会 短期集中 (京都府 メルパルク 京都)

みんな
で予防
感染症

手洗い・うがいは、
インフルエンザや
新型コロナウイルス感染症
食中毒の予防に
効果があります。
こまめに手洗いをしよう。
心がけましょう。



令和 3 年 (2021 年)

- 1 月 10 日 (日) 第 43 回北海道珠算選手権大会 (苫小牧市)
- 1 月 31 日 (日) 第 401 回全珠連珠算検定試験 (各地区)
- 2 月 7 日 (日) 第 9 回常任委員会 (珠算会館・新常任委員)
- 2 月 28 日 (日) 第 10 回常任委員会 (珠算会館・新常任委員)
令和 2 年度全珠連道央支部臨時総会
第 11 回常任委員・地区長会 (新現常任委員 珠算会館)
- 3 月 7 日 (日) 道央支部珠算指導者講習会 (会場未定)
- 3 月 21 日 (日) 第 402 回全珠連珠算検定試験 (各地区)
- 3 月 28 日 (日) 第 67 回全国珠算研究集会 (石川県)
- 4 月 11 日 (日) 第 7 回執行部長会 (珠算会館)
第 12 回常任委員・地区長会 (珠算会館・新現常任委員)
- 5 月 23 日 (日) 第 403 回全珠連珠算検定試験 (各地区)

編集後記

元号が平成から令和になり、あっという間に令和も 2 年になりました。時の流れが早く感じるのは私だけでしょうか？
令和になって初めての冬、雪も少なくこのまま春が訪れるかとつぶやいたのが災いしたか、2 月に入りドカ雪が降り、気が付けば、各地の降雪も例年並みに追いついて雪かきが、雪はねになり、最後は雪投げと変わり、腰の痛い日々が続きましたね。また、2 月中旬を過ぎればインフルエンザ感染症に加え中国を発症とする新型コロナウイルス感染症の拡大で、北海道では緊急事態宣言が発令されました。全世界的に広まり、未だ終息どころか収束にも至らない現状。政府も困惑状態、私たちも放心状態です。なぜなら珠算塾経営にもかなりの影響をもたらしているからです。そして、このような外的要因に対し人間は本当に無力ですね。ささやかな抵抗でマスクをし、手洗いを徹底していますが、だからといって……。令和も変動の時代になるのでしょうか。でも、これを悲観するのではなく、チャンスと考え、建設的な前向きな日々を毎日笑顔で絶やさずに優しさを忘れずに暮らしましょう。最後にあかしや第 84 号発行にあたり、ご投稿いただきました先生・選手の方々には、心より感謝申し上げます。(H・N)